

建物超寿命化支援企業の  
株式会社シゲル・コーポレーションが  
毎月発行する瓦版です

60<sup>th</sup>  
Anniversary

★当社が協賛するBSNラジオ番組  
『石塚かおりのBrand new day』(毎週火曜日7:15~8:54内)  
『サロン de かおり』(毎週土曜日17:00~)内にて当社ラジオCMオンエア中!  
★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて  
当社お天気フィラーTVCMを放映中!(毎週月曜日6時30分頃)



▲経営計画を共有し、進化飛躍の年へ向けて  
全社員が歩みを揃えました

シゲル・コーポレーション  
代表取締役社長の増村文武です。  
今月は、毎年恒例の社員全員参加による当社2026年度全社会議・経営計画発表会を実施し、意志結束を図りました。中東情勢の悪化による原材料価格の上昇や材料出荷の制限が我々の業界にも影響している現況ですが、当社のパートナーであります各材料メーカー様、ディーラー様とより緊密に情報共有と連携をとり、状況に合わせて柔軟な御提案ができる体制を維持してまいります。

また、昨年8月に着工した新潟本社の新社屋建設も、いよいよ5月下旬の完成に向けて大詰めを迎えました。6月中旬には既存社屋からの引越しを行い、ZEBレディ対応の新しいオフィスでの業務をスタートします。ぜひ皆様、遊びにいらしてください。来たる5月も宜しくお願い申し上げます。



4月某日、内装工事  
ガラスパーテーションが設置されました!

▲本社新社屋の建設、順調に進行中  
既存社屋の隣地に建替えを行っています  
(完成予定 2026年5月)

## 今月のトピックス

### I. 2026年度

「全社会議」経営計画発表会

### II. 株式会社基設計様にて

当社出張CPDセミナー実施

## I. 2026年度「全社会議」経営計画発表会

4月17日、アートホテル新潟駅前にて2026年度「全社会議」経営計画発表会を開催いたしました。  
本会では、まず昨年度の成果を振り返り、次年度に向けた新たな経営方針を全社員で共有しました。辞令交付では、新たな役職への任命が行われ、それぞれが担う責任と期待を改めて確認する場となりました。  
また、今年度は新たな取り組みとして「NO.1宣言表彰」を実施し、社員一人ひとりが掲げたNO.1目標について、社員同士の審査投票により表彰を行いました。互いの挑戦を認め合うことで、組織全体の士気向上にもつながる有意義な取り組みとなりました。  
今後も全社員が一丸となり、より高い目標に向かって挑戦し続けてまいります。



▲永年勤続表彰

▲辞令交付

▲NO.1宣言表彰

## II. 株式会社基設計様にて 当社出張CPDセミナーを実施



▲セミナーの様子

先日、(株)基設計様にてCPD対応の無料出張セミナーを開催しました。  
今回のテーマは「建物長寿命化時代の外壁改修の考え方」。外壁の長寿命化に直結する複合改修工法や、建物内環境の改善・省エネに寄与する湿式断熱仕上工法について、解説を行いました。

### ★セミナーテーマ★

- 「建物長寿命化時代の外壁改修の考え方」  
1) 資産価値を向上し、LCCを低減する外壁複合改修工法について  
(エバーガードSG工法、エバーガード15年保証工法、ノンネットガードU工法)  
2) 建物内の環境改善と省エネに寄与する外壁用湿式断熱仕上工法について  
(シュートサーモクラシック工法)  
※CPD2単位コース

# 荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム

## 連載第95回 今月のテーマ『ラストで救われる』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

先日、有人探査機による月の周回に成功したNASAのアルテミス計画。アポロ計画以来、実に半世紀以上ぶりとなる月面着陸を目指しての第一段階の有人飛行となったわけですが、いまだに多くの謎に包まれた最も身近な天体である月の更なる解明に胸が高鳴るばかりです。

月面探査を扱った内容の名作としては、過去に本シネマコラムにでも複数の作品を御紹介済。連載第28回目 テーマ「映画に登場する腕時計」にて御紹介した、災難に見舞われた宇宙飛行士たちの決死の生還劇を描いた実話を基にした傑作『アポロ13』、そして連載第5回目ではテーマを「嘘・フェイク」と設定し、アポロ計画自体が実は壮大な茶番劇であるという恐るべき陰謀論を前提に物語が進む『カプリコン1』 どちらもこの機会に再度観直してみました。

さて、当シネマコラム連載第95回目、今月のテーマはズバリ『ラストで救われる』です。主人公にとって圧倒的不利、絶体絶命の状況の後に待つ以外なラストで我々の心も救われる、観る者の気持ちを見事に高揚させていただける、それぞれに雰囲気異なる選りすぐりの3本を御紹介。

### ★今月も書籍の紹介

『大学時代に購入 シュルレアリスムの極み デ・キリコの画集』



★毎月掲載している挿絵はこちらからどうぞ。

### No.280『ランニング・マン (2025年 イギリス・アメリカ映画)』

S・キングが当時、リチャード・バックマンという別名で発表した小説『バトルランナー』の2度目の映画化。ちなみに1度目は若かりしシュワちゃんが主人公を熱演、お記憶に残っていらっしゃる方も多いのでは？ 富裕層と貧困層に完全に分断され、差別と監視社会が極度に進行した近未来のアメリカ。グレン・パウエル演じる主人公ベンは職場を不当に解雇され、愛する妻と娘のために命を懸けたチャレンジを決意。全米屈指の人気TV番組『ランニング・マン』で一攫千金を狙うことを決意した彼は、理不尽な社会に対する憎悪を最大のパワーにしながらオーディションを見事にクリア、本番出場を勝ち取ります。ただし本番は、30日間全米の一般市民を含めた全ての監視者達の攻撃をひたすら逃れ生き残ること。冷酷無比なハンター達に追われ続け、視聴率しか頭にないジョシュ・ブローリン演じる本番組の悪徳プロデューサーの理不尽な導きに翻弄され、まさに絶体絶命の状況に... 本作の一番怖いところは、実際の現代アメリカの歪みを数十年前既に予見していたこと。フェイクまみれのダークな社会そのものが本作最大のヒールと言っても過言ではないでしょう。

### No.281『クライム101 (2026年 アメリカ・イギリス合作映画)』

『マイティ・ソー』では屈強なスーパーヒーローを演じたクリス・ヘムズワースが、本作ではがらりと印象を変えて、心に影のある寡黙な主人公を好演。覆面をし髪の毛1本の証拠も残さず、かつ人を絶対に傷つけずに高価な宝石類を強奪することで生業を立てている主人公のマイク。ロサンゼルス市の101号線沿いで頻発する強盗事件の犯人像を掴み、地元警察は手を焼いていました。マイクは、交通事故が原因で偶然知り合った女性マヤと恋に落ちますが、そんな中でバリー・コーガン演じる同業のオーマンにあることが原因で付け狙われるようになり、正体を明かさぬ完全犯罪に徹していたマイクの運命の針は、いよいよ右に左に大きくぶれ始めていくのでした... 全体的な作品のトーンは上質かつダークなクライム・サスペンスの雰囲気を纏い、派手な演出を抑えた中で淡々と物語は進むわけなのですが、犯人の正体を追うマーク・ラファロ演じる少し冴えない中年刑事のルーとマイクが遂に交わる終盤から、予測できないクールなラストに向けて物語は一気に動きます。オチが粋で最高。素敵なマイクからのプレゼントに観る者も救われた気分になっちゃいます。

### No.282『逃亡者 (1993年 アメリカ映画)』

公開から30年以上が経過。もともとは1960年代のTVドラマをその当時の現代風にアレンジした上で、映画版としてリメイクした作品。妻殺しの罪を着せられた主人公の医師リチャード・キンブル役をハリソン・フォード、そして彼を非情に追跡し追い詰める連邦保安官捕ジェラード役をまだまだ若かったトミー・リー・ジョーンズが熱演。逃亡しながら真犯人である「片腕の男」を追うキンブルの執念と、ジェラードの執念のせめぎ合いが本作の大きな見所。ちなみに物語は1950年代に実際に起きた妻殺しの冤罪事件がもととなっているとのこと。本作でトミー・リー・ジョーンズはアカデミー助演男優賞を受賞。製作前の俳優陣へのオファー段階では、保安官捕役をハリソン・フォードが熱望したとも言われており、いずれにせよ主人公以上にインパクトのある役柄であることに間違いはありません。それは後に保安官捕を主役にしたスピノフ作品『追跡者』が作られたことでもはかり知ることができます。ラストでジェラードの心に真相が満たされ、彼とキンブルの間に和解が訪れるその瞬間、我々観る者の中にも救いが差し伸べられたような境地を感じることができる秀作。

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^\_-)☆

